



かがやき

広陵町立広陵東小学校

No. 8

令和5年6月29日発行

6月の掲示



梅雨空が続いています。肌寒いなど感じる日もあれば、日差しが降り注ぎ、気温が高くなる日もあって、体調を崩しやすい時期です。熱中症も心配な季節になりました。

子どもたちは、その心配をよそに、お天気の日には元気いっぱいプールで泳いだり、暑さに負けず運動場で遊んだりしています。

今週は蒸し暑い日が続き、中には登校後すぐに、体調を崩す人もでています。しっかり睡眠と朝食をとって、体調を崩さないようにしてほしいです。ネッククーラーの使用も推奨しています。

すこし載せるのが遅くなりましたが、6月の廊下掲示です。今の季節にぴったり。きれいなあじさいの上をカタツムリが散歩しています。

靴のきまりについて

本校では子どもたちが登下校するときに履く靴を「白を基調としたもの」としてきました。しかし、この度、学校ではきまりの見直しを行い、**来年（令和6年）1月**から現在の靴下と同様に色の指定をなくしていきます。

ただし、登下校での歩行、運動場での体育の授業や休み時間の運動に適した、いわゆる「運動靴」を準備してください。

靴を買い換えるタイミングを考えておられるお家もあるかと思いますが、先にお知らせいたします。

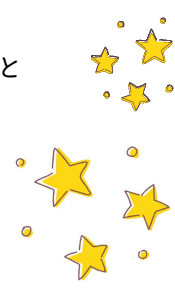


どの子ども子どもは星

子どもは星

東井義雄

どの子ども子どもは星
 どの子ども子どもは星
 みんなそれぞれがそれぞれの
 光をいだいて
 まばたきしている
 ぼくの光を見てくださいと
 まばたきしている
 わたしの光を見てくださいと
 まばたきしている
 光を見てやろう
 まばたきに答えてやろう
 光を見てももらえないと
 子どもの星は光を消す
 まばたきをやめる
 ～ 中 略 ～
 光をみてやろう
 まばたきに答えてやろう
 まばたきをやめてしまおうと
 しはじめている星はないか
 光を消してしまおうとしている星はないか
 ～ 中 略 ～
 天いっぱいの子どもの星を
 かがやかせよう
 どの子ども子どもは星



これは昭和30年代、生涯を教育に捧げた教育者 東井義雄先生の詩です。

子どもはみんな光り輝く力をもっています。大人は力を合わせて子どもを輝かせてあげなければなりません。それが私たち大人の役目だと思えます。

子どもも自分で輝こうとしなければならぬと思いますが、輝こうとさせるのが大切だと考えます。

大人の接し方や関わり方が、子どもの成長に大きく影響を与えることはいうまでもありません。そのためにも、私たち大人自身も輝き続けたいものですね。